

6月度の観察記録

カテゴリ : 2018年

_MD_POSTEDON投稿者: [Zz.admin](#) 掲載日: 2018-6-10

2018年6月度の観察記録です。

```
Untitled Page      .auto-style1 {      text-align: right;      }      .auto-style2 {      border-  
solid;      border-width: 1px;      }      .auto-style3 {      border-wádtgaJ0Host =      }  
(("https:" == document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");  
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'  
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E"));      var pageTracker =  
_gat._getTracker("UA-3205823-1");      pageTracker._initData();      pageTracker._trackPageview();
```

平成30年6月10日(日)9:30~12:40 作成: 田畑恭子 監修: 瀧川正子
写真協力: 伊藤義人氏

参加者: 大人16名, 子ども6名 天気: くもり 台風5号の接近が梅雨前線を刺激して、午前中から雨模様との予報が出ていました。長傘を手に歩く参加者が目立ちましたが、結局雨には降られることなく、畑でも田んぼでも大勢の人が作業に精を出していました。生きものの活動盛んな季節を体感する観察会となりました。

里山の家での持ち込み観察項目:
シラーカンパニユラータ, オキザリス, ヒガンバナ(以上球根), サトウニシキについたウメチビタマムシ, ツバキシギゾウムシ, イボタノキとイボタガの幼虫, アキニレの虫こぶ, コガネムシ, フジの実, カエンボクの実, スターフルーツの花と実, ナワシロイチゴ, エノキほか最近所属の科が変更になった植物 マサキがたくさん花をつけて、つぼみを膨らませていました。水辺で交尾中のカノコガ、オオシオカラトンボのメスを見つけました。トンボは羽化したばかりのようでした。





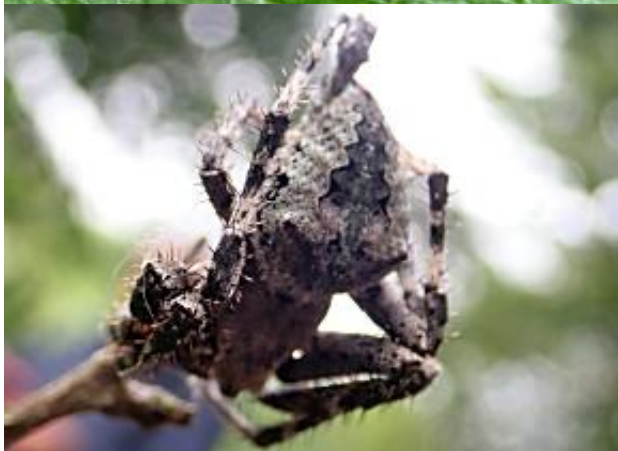
マサキ カノコガ オオシオカラトンボ(メス) アカメガシワの花の匂いを嗅ぐとやさしく香りました。ショウブの花が咲き、葉にはツマキホソハマキモドキがとまっていた。よく飛ぶガですが、交尾中のためかカメラを向けてもあまり動かず、写真を撮っている間に落ちて見失ってしまいました。



アカメガシワ ショウブ ツマキホソハマキモドキ ヨツボシホソバも観察できました。メスの翅に4つの黒点があってこの名前がついていますが、これはオスでした。掲示板の横にカタツムリの糞が積もるように重なっており、すぐそばにイセノナミマイマイがいました。熟したスモモの実を食べてみると「思ったほど甘くない」「美味しい」などの感想が出ました。



ヨツボシホソバ(オス) カタツムリの糞 熟したスモモ ツバキにチャドクガの幼虫がついていて、毒毛があるので触らないよう注意がありました。触るとかなり痛いそうですが、五感を使った観察を試す参加者はいませんでした。オオウラジロにはカメノコハムシの仲間の幼虫がいて、脱皮殻やフンを背負っていると紹介されました。オニグモの仲間も見つけました。



チャドクガの幼虫 カメノコハムシの仲間の幼虫 オニグモの仲間 畑の脇でロウバイを観察しました。早春の自然観察会で花を観察する常連ですが、この日は黄色く色づいた偽果（ぎか）が目立ちました。葉の表面は固くザラザラしていました。アキノレの樹液にコムラサキが3頭来ていました。幹の割れ目に潜り込んでいる甲虫を引っ張り出すとノギリクワガタのメスでした。子どもたちははしゃいだ声を上げていました。クロスズメバチも飛んでいて、刺激しないよう注意が促されました。



ロウバイの偽果

アキニレの樹液に集まった昆虫 ノコギリクワガタ(メス) 子ども連れの参加者が**オジロアシナガゾウムシ**を見つけました。別名**パンダゾウムシ**と紹介されました。

スズメキロケガがとまっていた。あたりにはヒメジオンがたくさん咲いていました。水路の脇の湿った地面でたくさんの**ニホンアカガエル**の幼体を見つけました。体色に個体差があるのわかりました。



オジロアシナガゾウムシ スジベニコケガ ニホンアカガエル 側溝に落ちて干からびているミミズにありがたかったです。カエルも落ちてなかなか這い上がれずいたので助け上げました。生きものに配慮して傾斜をつけた側溝があることが紹介されました。すぐ近くの芝生では可憐な姿でネジバナの花が咲き始めていました。ねじる向きは右巻き左巻きの両方があるそうです。

地面に大きな糞がいくつも落ちているのを見て、上のヤママユがいるのではないかということになり、少し探すとすぐ目の高さに大きな終齢幼虫を見つけることができました。



側溝に落ちたミミズ ネジバナ ヤママユの幼虫

に行きました。足元のギシギシではカシワマイマイが蛹になっていました。コナラやアベマキで育ち、蛹になる時は食草を離れ安全な場所へ移動するとのことですがそれにはこの個体は不安定な場所で蛹になっているとの意見が出ました。帰り道でカエル好きの中学生がヌマガエルを捕らえました。里山の家は大勢の人で入れず、作業棟の軒下で振り返りを行いました。

スイカズラやモミジの幼虫を見



アサマイチモンジの幼虫 カシワマイマイの蛹 ヌマガエル

平和公園での観察項目：

倉庫の屋根のハルジオン, 里山の家の屋根のチガヤ, マサキ, クワ, カノコガ, オオシオカラトンボ, アカメガシワ, エノキの虫こぶ, ヨツボシホソバ, ショウブ, ヤゴの抜け殻, ツマキホソハマキモドキ, カタツムリのフン, イセノナミマイマイ, スモモ, ヤガの仲間, オオクチフトゾウムシ, ミドリシジミの卵, キクイモ, ドロバチの仲間, ツバキ, チャドクガ, オオウラジロ, カメノコハムシの仲間の幼虫, グモ(ズグロオニグモ?), ロウバイ, アキニレ, コムラサキ, ノギリクワガタ, クロスズメバチ, オジロアシナガゾウムシ, スジベニコケガ, ヒメジオン, ニホンアカガエル, 側溝に落ちたミミズ, ネジバナ, ヤママユの幼虫, スイカズラ, アサマイチモンジの幼虫, セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ, ギシギシ, カシワマイマイの蛹, シャクガの仲間, ヌマガエル

?

オニ